**令和元年度（平成３１年度）**

**上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して**

僕は、今回の研修に参加して、一番印象に残ったことは、ホストファミリーとの食事です。いつもの日本での夕食は、テレビを見ることと食べることばかりでした。しかし、アメリカでの夕食は、みんなと話しながら楽しい時間が過ごせました。そして、アメリカらしいタコスやピザ、ハンバーガーを手作りで食べられて楽しかったです。食事中は、アメリカの文化、日本の文化を交流しながら会話をすることができました。また、日本食を作った日もありました。おにぎりとたまご焼き、チャーハン、緑茶、わかめスープを作りました。サクラメントでは、米の生産も有名だそうで、ホストファミリーも好きだったそうです。特にホストブラザーのライアンは、米にしょうゆをかけて食べるのが好きでした。ホストファザーのブライアンさんは、おにぎりが好きで、塩がよく合っていると言っていました。昼にラーメンを作った時は、全員に大好評でした。僕は、ホストファミリーに、おいしいアメリアの食文化について学ぶことができたので、もし日本に来たら、日本の食文化をもっと教えたいです。食事前のお祈りも最初は慣れなかったけど、後から合わせてやることもできるようになりました。アメリカで、甘いお菓子もたくさん食べられたので、いい思い出になりました。

　終日、研修で行ったサンフランシスコは、少し肌寒かったです。同じカリフォルニア州でも差があると感じました。そして、大きなゴールデンゲートブリッジと高層ビルがあり、とても驚きました。ゴールデンゲートブリッジは、霧がかかっていて逆にすごく感じました。上を歩いてみると、海とたくさん走る車があり、とても頭に残っています。そして、ビルがあったり、買い物をした「PIER39」では、海が近かったので海に関係のあるものや、ゴールデンゲートブリッジのお土産がたくさん売ってありました。そこで日本の家族などにお土産を買って、大量のアシカも見ました。とても楽しかったです。

　僕が感じた日本とアメリカの違いは、積極性です。なぜなら、アメリカの子どもたちは、日本のお菓子をみんな「try」と言っていたからです。日本は他の人にまかせたりするところが多いけど、アメリカでは自分がするという大きな違いがあります。僕も日本では、いつも挑戦はしていなかったので、とても勉強になりました。

　帰ってきて、ホストファミリーと何回かメールをしたりしました。今回のお礼や、日常のことを伝えていこうと思います。また、家族にもまだ伝えられていない体験を話そうと思います。今回の研修は人生でとても貴重な経験になりました。これからは、その体験を活かして積極的に行動をしていきたいです。そして、学校でも積極的に様々な行事を取り組んでいきたいです。